



大津支局
大津市京町四丁目
(〒520-0044)
077(523)3388
FAX 077(524)4447

彦根支局
彦根市古沢町661の2
(〒522-0007)
0749(22)1234
FAX 0749(24)5112

(広告) (23) 4018

長浜通信局
0749(62)0436
FAX 0749(62)0437

近江八幡通信局
0748(33)3456
FAX 0748(33)3416

甲賀通信局
0748(62)0347
FAX 0748(62)0459

東近江通信局
0748(22)0331
FAX 0748(24)0702

草津通信局
077(562)0620
FAX 077(565)9359

木之本通信局
0749(82)3050
FAX 0749(82)4821

ニュースは上の電話へ
読者センター
052(221)0800

バイオディーゼルの挑戦者たち

湖国の挑戦者たち

「ガソリンスタンド(GS)はまちのエコロジステーション」。油藤商事(豊郷町)では、企業や家庭から集めた廃食油で、排ガス中の有害成分が少ないバイオディーゼル燃料(BDF)を作り、販売している。環境問題に取り組みGSの先駆けとして、BDFを買い求める顧客や、精製方法を学ぼうとする同業者など、全国から注目を集める。

廃食油からBDF作る油藤商事(豊郷町)



バイオディーゼル燃料の精製・販売をする油藤商事の青山裕史さん。スタンド内に設置された資源ごみの回収ボックス。豊郷町の油藤商事で

GSを環境拠点に

客にとっても便利で、店にとっても集客効果がある。廃食油も回収するようになり、油から作ったりサイクルせつけんを使う「エコ洗車」を開始。地域に密着しながら、環境に貢献するGSとして

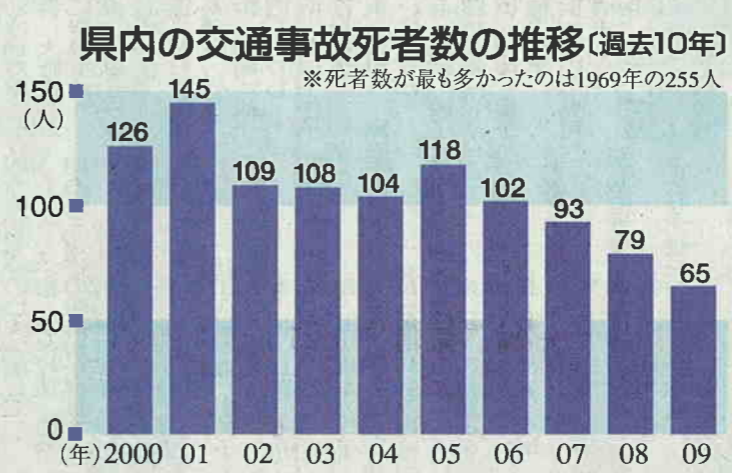
動きだした。二〇〇二年にBDFの精製と販売を始め、翌年には、千万円をかけて精製プラントを完成。「当時は誰もBDFの精製をやっておらず、文系の自分には専門知識がなかった。周囲の反応もいまの廃食油も回収するようになり、油から作ったりサイクルせつけんを使う。しかし今では、企業や個人など多くの方面でBDFが使われ、全国から

問い合わせがある。集めてもらい、うちがBDFを作り、お返しする。経営店舗や社員食堂の廃食油が企業の物流トラーすべてがつながってツクを、学生食堂の廃食油が大学のシャトルバスを動かすなど、循環の形を動かすなど、循環の形を作れる。「BDFを使いもたく、あくまで商売たい人や企業に廃食油を」と言い切る。「売り

2009年 死者65人、52年前の水準に

交通事故 死者65人、52年前の水準に

発生状況を発表した。死者数が〇八年から十四人減の六十五人となった。着用率は77%で、〇八年の41%(二十九人のうち十二人)から大幅に向上した。県警は後部座席のシートベルト着用義務化を含む改正道交法が施行された〇八年六月以前から、全席ベルト着用を呼び掛ける広報・



預金から50万円着服

滋賀中央信用金庫から預かった計四百九十八万三千円の預金を着服したという。女性の一人から〇九年七月、預金通帳に記載された残高が少ないうちに指摘を受け、発覚した。職員は一九九七年四月に入庫。犯行時期に署に刑事告訴したと発表した。着服金は全額弁済したが、同署は業務上横領の疑いで調べている。

安土町合併問題

来月14日に住民投票

町選管 議会解散本請求を受理



町議会解散を本請求する白木敬祐代表(手前右)ら。安土町役場で

近江八幡市との合併五日告示、二月十四日の是非を問う住民投票開票と決めた。投票運動の説明会決した安土町議会(定数一〇)の解散を求め、同町の住民団体「急げな合併・守ろう安土みんなの会」の会員たちが五日、町選管にリコールを本請求した。

これを受けて選管は同日、委員会を開き、解散の是非を問う住民投票の日程を一月二十

受け取った後、その場皆さんの熱意のおかげでリコール本請求の手続きをした。さらに予定される出直し町議選が、三月二十一日の合併期日までに実施できよう請願書も提出した。

記者会見した白木代表は「署名してくれた

までは県民の保護を中心にしてきたが、企業を守ることも大事。大企業はまだしも、中小企業で事業継続計画を策定しているところは少ないはずだ」と計画策定の必要性を訴えている。

申し込みは県商工政

企業向けインフル講座

県は十五日午後二時から、企業が新型インフルエンザ対策について学ぶセミナーを、大津市打出浜のコラボしが21で開く。無料。インフルエンザ流行時に企業が行動指針と

県警交通企画課は、二〇〇九年の交通事故

(第3種郵便物認可)